

感染症がはやる季節

こどもがかかりやすい 感染症には流行しやすい季節があります。

春		夏			秋			冬		春	
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
3月～8月											
3月～7月上旬											
12月～7月											
3月～8月											
									1月～3月		
3月～5月											
						11月～12月					
6月～7月											
6月～8月											
7月～8月											
									12月～7月上旬		
通年											

感染病名		かかりやすい年齢	潜伏期間*	一般的な症状・日数	治るまでの期間(めやす)	登園のめやす
予防接種あり	麻しん(はしか)	2歳以下	9～12日	感染するおそれのある期間 発熱、鼻水・せき・目の充血、全身に赤い発しん	10日	解熱後3日を経過してから
	風しん(三日ばしか)	1～9歳	14～21日	感染するおそれのある期間 発熱、全身に赤い発しん、リンパ節のはれ	5日	発しんが消失してから
	みずぼうそう	1～5歳	13～21日	感染するおそれのある期間 発熱、発しん(紅斑→水疱→膿疱→かさぶた)	10日	すべての発しんが痂皮化してから
	おたふくかぜ	1～6歳	11～27日	感染するおそれのある期間 発熱、耳下腺のはれ	7日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
	インフルエンザ	あらゆる年齢	1～5日	感染するおそれのある期間 発熱、関節痛・全身倦怠感、鼻水・せき・のどの痛み	7日	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(幼児(乳幼児)にあっては、3日を経過するまで)
	感染性胃腸炎(ロタ)	2歳以下	2～4日	感染するおそれのある期間 腹痛・嘔吐・発熱・下痢・白い便	7日	嘔吐、下痢等の症状は治まり、普段の食事がとれること
予防接種なし	感染性胃腸炎(ノロ)	1～12歳	1～3日	嘔吐・下痢・発熱・腹痛	3日	
	ヘルパンギーナ	4歳以下	2～4日	発熱、のどに水疱性発しん	7日	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
	手足口病	4歳以下	3～5日	発熱、口の中の粘膜・てのひら・足底などに水疱性発しん	5日	
	プール熱(咽頭結膜熱)	5歳以下	5～7日	発熱・のどの痛み(咽頭炎)、目の充血(結膜炎)	5日	主な症状が消え2日経過してから
	溶連菌感染症	5～10歳	2～5日	発熱・のどの痛み(咽頭炎・扁桃炎)、発しん・莓のような赤い舌、皮膚がめくれる(21日まで)	21日	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
突発性発しん	2歳以下	約10日	発熱、赤い発しん	6日	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと	

感染症の特徴

この登園のめやすは回復の最短期間です。子どもの月齢や回復力によっても異なりますから、子どもの健康状態が集団生活に適応できることをめやすにして各園の登園基準にしたがいましょう。

注：一般的な流行時期をご紹介しますが、流行する時期は地域によって異なります。

* 潜伏期間：病気に感染してから、体に症状が出るまでの期間のこと。

厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」、学校保健安全法施行規則、米国小児科学会(AAP)による感染症罹患時の就業制限を参考にして監修した。